

令和3年9月10日

魚沼市議会議長 関 矢 孝 夫 様

議会運営委員会

委員長 富 永 三 千 敏

議会運営委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 議会改革について (ペーパーレス化等)
(2) その他
- 2 調査の経過 9月10日に委員会を開催し、上記案件について協議した。
前期の議会改革特別委員会からの課題であった議会のデジタル化、ペーパーレス化について協議し、タブレット等の導入に向けて、今後検討していくこととした。

議会運営委員会会議録

1 調査事件

(1) 議会改革について（ペーパーレス化等）

(2) その他

2 日 時 令和3年9月10日 議会本会議終了後

3 場 所 本庁舎3階 委員会室

4 出席委員 大桃俊彦、大平恭児、富永三千敏、志田 貢、渡辺一美、佐藤 肇、森島守人
(関矢孝夫議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 なし

7 書 記 佐藤議会事務局長、和田議会事務局次長

8 経 過

開 会 (13:46)

富永委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。
これから議事に入ります。

(1) 議会改革について（ペーパーレス化等）

富永委員長 日程第1、議会改革について（ペーパーレス化等）についてを議題といたします。
資料について事務局に説明を求めます。

佐藤議会事務局長 (資料「議会改革特別委員会課題まとめ」「糸魚川市による県内20市への調査結果」について説明)

富永委員長 質疑はありませんか。

渡辺委員 この糸魚川市の調査は個人所有のパソコンを使用していかどうかの調査のようですが、既にどういう形であれ議場でタブレットを使用しているところはわかるのですが、専用のタブレットを貸与しているところはどこかわかりますか。

佐藤議会事務局長 この調査は議員所有のパソコンの本会議、委員会における使用ということであって、タブレットがどうなっているかは類推できる答えもありますが、本当のところどうしているというのは、そういう角度で質問していないのでそこまではわかりません。参考ということで配付させていただいたという位置づけでご覧いただきたいと思います。

渡辺委員　今後、県内の配付型タブレット導入、個人型タブレット導入というような調査は可能でしょうか。

佐藤議会事務局長　この委員会の中で、県内の状況が知りたいということで項目を作っていたら、事務局で20市の調査は行います。

富永委員長　ほかに質疑はありませんか。(なし)なければ質疑を終結します。今日の議運の検討の方向性は、私としては、前回のこの議会改革特別委員会で議論した結果を皆さんからよく読んでもらって、実際にタブレットを導入する場合、また、議題には、ペーパーレス化という表現をしていますが、タブレットを導入してペーパーレス化にいきなりするのか、また、議会のICTやデジタル化ということを考えて段階を踏まえてのペーパーレス化ということで次回、16日の委員会で皆さんの考えを聞いて方向性を決めたいと思っています。先ほど説明の中で議会事務局長から議会改革特別委員会の中では導入する方向で決まっております、全議員に意向を確認しているということですので、具体的にどこからどうやって進めていくかを次回決めたいと思います。そのようなことでこの委員会を進行していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。そのことを踏まえ、自由討議とさせていただきます。ここでしばらくの間、休憩とします。

休　　憩（13：57）

休憩中に自由討議

再　　開（14：16）

富永委員長　休憩を解き、会議を再開いたします。休憩中に各委員から意見、考え方を聞かせていただきましたので、私の方で概略を説明させていただきます。

1、議会のペーパーレス化についてタブレット導入ということでは、最終目標をどこにするのか。ペーパーレスだけではなくて、執行部と議会が同意の上でどこまでできるのかというのを検討しながらやっていくこと。

2、市民に対して見える化するよう、どれだけの経費節約やスピーディーにできるというのは見せていかなければならない。また、何らかの恩恵がなければならぬので、それには、議案を公開して市民がすぐ見れると。また、議場でもそれが確認できるというふうなことで、市民も議会も執行部もデジタル化することによって便利にならなければならない。

3、資料も詳しく、また、迅速に配付ができるということで、それをするには、冒頭、個人のタブレットを持ち込むのが最初で、そのあと、デジタル化の議会を目指すのかというふうな順番について言いましたけれど、先ほどの皆さんの意見では、そうではなくて、最初からある程度の設備を考えてやるべきだと。

4、どういうメリットを期待するのかというのをきちんと考えてハード部分のできる範囲の設備をするように、導入に向けてメーカーの方から来ていただいて研修会、講習会を早めにやってもらった方がいいのではないかと。

5、連絡のメール、議案の配布、全てデジタルでやるということで、そうすることによ

って、今後、新しい若い方が議員になられたときにスムーズな移行ができることも大事。

皆さんから意見を頂戴した以上のようなことで、導入に向けた方向を向いてこの委員会を開催して議論をしていきたいと思います。その前に執行部の考え方、どこまで今進んでいるかを確認した上で、次回 16 日の委員会で協議の資料としたいと思いますのでよろしくをお願いします。

(2) その他

富永委員長 日程第 2、その他を議題といたします。委員の皆さんからいかがでしょうか。

佐藤委員 これに関連した話なのですが、デジタル庁ができました。当然、今度はそれぞれの自治体含めて国全体にデジタル化を進めるという取り組みです。国もそれに対する予算を付けたり、横のつながりをつけたりということで動きが出てくるのではないかと思います。一番やり玉にあがるのはこういう紙でやっている議会では。ほかの市の行政ベースのところは、かなりデジタル化が進んでおりますので、そういったのを見ていると、売れているのは議会かなと感じています。ですので、その辺の調査を市のほうにも進めてもらうように委員長からもお願いします。

渡辺委員 デジタル庁ができて国を挙げて進んでいるのであれば、何も県内がどうこうということではなくて、進める方向なので県内の状況を調べなくてよいということならそれでよいです。そのあたりどうお考えでしょうか。

富永委員長 デジタル庁ができたので計画を作る予算はついてますが、全国的にどうするという予算はないようですので、今後どのように進めていくのかを見ながら市と相談して進めていきたいと思います。

佐藤委員 他市の状況ですが、新潟県内は遅れています。よそはすでに 3 分の 1 以上は導入が終わっていますし、ここ 1、2 年やるということを入れれば半数になると思います。ですので、お金もかかるのでどの自治体も二の足を踏んでいるのだらうと思いますので、その辺含めて調査ということまで行きませんが、全国的にどういう経過でやってきたというところをかなり話を聞いたり見たりしてきたので、我々が利便性を、恩恵を受けられることをどうすればいいか体験するのが 1 番だと思います。

渡辺委員 他市のことはそれほど意識しなくてもよいということになったときに、例えば、デモンストレーションに来てもらうときに予算は必要なのでしょうか。

和田議会事務局次長 無料で来ていただけるものと思っています。

富永委員長 この件についてはこれで終了とします。その他の件で何かありませんか。(なし)
ないようですので、以上といたします。会議録の調製については委員長に一任願います。
これで本日の議会運営委員会を閉会いたします。

閉 会 (14 : 25)